

縄はこうやって
なうんだよ

(6月17日、老人クラブ体育祭

＝関連記事20頁)

祝
700
号

主な内容	広報くのへ祝700号.....	2～3	年長児親子運動会.....	8
	参議院議員選挙は7月10日.....	4	ポンプ操法競技会.....	9
	7件の不動産を公売.....	5	老人クラブ体育祭.....	20

ありがとう58年 祝700号

創刊第1号

昭和33年4月25日号



創刊号の名称は「九戸村広報」。昭和30年4月に九戸村が誕生してから3年後に創刊されました。大きさはB4版程度。創刊に当たり、佐々木忠三元村長のあいさつと近藤重郎元村議会議長のお祝いの言葉が掲載されています。(人口10322人、世帯数1675世帯、昭和33年10月1日現在…岩手県統計年鑑)

広報くのへが今月号で700号を迎えました。「広報くのへ」は、九戸村が誕生してから3年後の昭和33年4月25日に第1号が創刊。それから58年余り、村民と行政をつなぐパイプ役として、行政情報や村の話題などを全世帯に届けてきました。今月は創刊700号を祝うとともに、節目の月に発行された広報紙を紹介し、これまでの歩みを振り返りたいと思います。

第100号

昭和41年7月号



第200号

昭和49年11月号



6月定例議会で審議・採択された議案や予算が紹介されています。仙台市で行われた第1回東北町村長大会において、提出し決議された要望事項が掲載されています。昭和39年5月号(74号)から名称が「広報くのへ」に変わりました。(人口9152人、世帯数1945世帯、昭和42年10月1日現在…岩手県統計年鑑)

9月定例議会にて議決された議案や予算を掲載。家畜共進会や伊保内小学校の創立100周年が紹介されています。今でも続く「みんなの健康」が昭和48年6月号に登場。紙面の大きさが昭和45年2月号(143号)からB5版に変わりました。(人口9236人、世帯数2063世帯、昭和49年10月1日現在)



第300号

昭和58年3月号



農産共励会で98人が表彰、村青年文化大会で行われた青年の主張や踊り、演劇の写真が掲載されています。連載「部落公民館たより」では二ツ家部落公民館を紹介、「ふるさと再考」では九戸政実の乱と村のことわざを紹介しています。(人口8885人、世帯数2099世帯、昭和58年1月末現在)

広報くのへ

お蔭さまで

これからもずっと 皆さんと共に

広報お知らせ版

平成20年6月16日号



平成20年6月から月の中旬、水曜日に「広報くのへお知らせ版」の発行を始めました。行政経費削減と、行政連絡員が各戸配布する手間を削減するために発行することとしました。各課のチラシなどを集約し、経費節減が図られています。作成はDTP編集にて行い、モノクロ版の自前印刷となっております。

700号

皆さんとともに「58年」

第600号

平成20年3月号



第500号

平成11年11月号



第400号

平成3年7月号



新村議会議員18人を紹介。広報の歩みや広報紙ができるまでを特集しています。昭和63年5月号(362号)から2色刷り16頁と現在の広報紙の基本形ができました。連載「シルバー・シート」が同号から始まり、「わが家の人気者」もこのころから登場しています。(人口8188人、世帯数2163世帯、平成3年5月31日現在)

村内初の県指定史跡「黒山の昔穴遺跡」を紹介。文化協会構成団体を紹介する連載「リレーメッセージ」が平成19年5月号(590号)から始まりました。平成16年9月号からDTP (Desk Top Publishing) を導入。編集やレイアウトなど、印刷・製本以外のすべてを広報担当者がパソコンで作業、コスト軽減が図られました。(人口6954人、世帯数2186世帯、平成20年1月末現在)

平成10年度の決算を紹介。伊保内高校創立50周年記念の様子を掲載しています。九戸村史編さん室(連載135回)に引き続き、ふるさと再発見「社(社)を歩く」は平成10年5月号(482号)から始まりました。紙面の大きさが平成7年5月号(446号)からA4版となりました。(人口7595人、世帯数2150世帯、平成11年9月末現在)



投票日 7月10日

投票日のお出掛けは、投票所経由で！



投票時間 午前7時～午後7時

参議院議員通常選挙

その一票が私たちの明日へとつながります

第24回参議院議員通常選挙は、6月22日に公示され7月10日に投票が行われます。今回の選挙は、国の政治を方向づける大切な選挙です。棄権することなく、責任ある一票を投じましょう。

投票は2種類

今回の投票は、次の2種類を行います。投票方法を確認して投票しましょう。

■若手県選出議員の投票

一人の候補者を選び、「うすい黄色」の投票用紙に、その候補者の氏名を書いて投票します。

■比例代表選出議員の投票

候補者または政党等を選び、「白色」の投票用紙に、その候補者名または政党等の名称を書いて投票します。

投票は午後7時まで

投票は、7月10日(日)の午前7時から午後7時までの間に行われます。

投票日に投票できないときは

期 日 前 投 票

6月23日から7月9日

投票日に仕事や冠婚葬祭などの予定があるとき、投票区の区域外に旅行や滞在が見込まれるときなどは、期日前投票ができます。

■投票期間

6月23日(木)～7月9日(土)

■投票時間

毎日、午前8時30分～午後8時

■投票場所

村選挙管理委員会の事務室(役場4階)

※エレベーターがありますので利用ください。

《不在者投票制度》

出稼ぎなどで村外に滞在しているときは、滞在先の市区町村の選挙管理委員会で投票ができます。不在者投票ができる施設として指定されている病院などに入院・入所しているときは、その施設で不在者投票ができます。投票できる期間は、期日前投票と同じです。また、郵便などによる投票制度もありますので、早めに選挙管理委員会で手続きを行ってください。

で、村内14カ所の投票所で行われます。投票所は、村選挙管理委員会から郵送される「投票所入場券」に記載されています。投票の際には、入場券をお持ちください。

■18歳から投票できます

今回の選挙から、選挙権年齢が満20歳から満18歳に引き下げられました。若い世代の人たちが政治に関心をもち、積極的に自らの一票を投じていただきます。

ますようお願いいたします。

なお、投票ができると思われる人で、入場券が届かないときには、村選挙管理委員会(☎42・2111内線182)に問い合わせください。

《開票》

■期日 7月10日(日)
■時間 午後8時開始
■場所 九戸村公民館

【問い合わせ先】

村選挙管理委員会
☎ 42-2111 内線 182

7件の不動産を公売

税金滞納者から差し押さえた不動産を、期日入札によって公売します。

■公売日

8月10日（水）

■受付時間

午前8時30分～午前9時30分

■入札場所

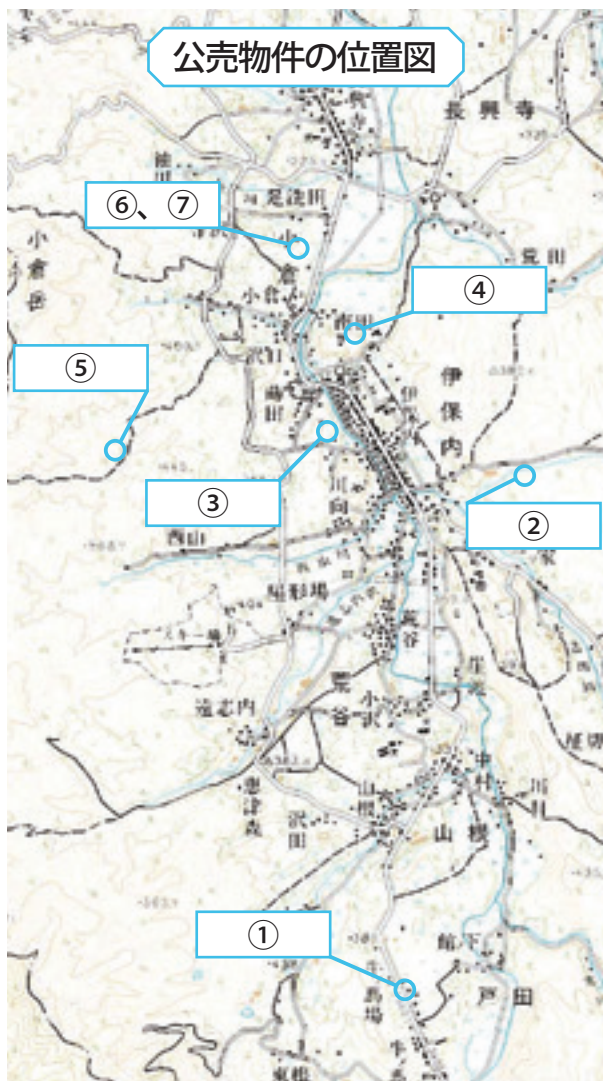
役場3階・第2会議室

■入札に必要な物

①本人確認資料 ②印鑑

③代理人の場合は委任状

■その他



【公売物件】

	所在地	地目(現況)	地籍
①	戸田第14地割74番16	雑種地	992 m ²
②	伊保内第2地割148番4	山林	1,074 m ²
③	伊保内第20地割17番1	山林	470 m ²
④	伊保内第10地割45番	山林	1,250 m ²
⑤	伊保内第18地割44番地2	山林	15,909 m ²
⑥	小倉第5地割40番1	山林	2,721 m ²
⑦	小倉第5地割40番16	公衆用道路(山林)	58 m ²

納税は納期限内に

納税は憲法で定められている「国民の義務」です。

村では、皆さんが納めていただいている貴重な税金を財源として、さまざまな行政サービスを提供しています。九戸村の明るい未来のためにも、村税の納期限内納付に、ご協力をお願いします。

■督促状は危険信号！

納期限までに納税しない場合、国税徴収法の規定によって、督促状を発した日から10日を経過した日までに完納しなければ、財産を差し押さえなければなりません。

■納期限を過ぎると、損することばかり

税金を納期限までに納めなかった場合、年9.1%の割合で延滞金が掛かります。これは、銀行などでお金を借りるよりも高い率です。

また、納期限までに納めた人との公平性を図るため、延滞金を含めた滞納税額は、滞納処分によって強制的に



未来を担う子どものためにも期限内に納税を

徴収されます。
■納付が困難な場合は相談を

失業や家族の病気など、特別な事情によって納期限までに税金を納めることが難しいときは、必ず相談ください。減免や納税の猶予などを受けられる場合もあります。

事前に連絡をいただければ、時間外（午後5時30分以降）でも相談を受け付けています。

■問い合わせ

税務会計課税務徴収班 ☎ 42 2 1 1 1 内線(233)

伊高に小さな親切実行章。

伊保内高等学校の村地域子ども読書会の活動が認められ、6月16日に小さな親切実行章が同校体育館で贈呈されました。全校生徒112人が集まる中、岩手銀行伊保内支店の佐藤正隆支店長から、生徒代表の坂本樹里さん（3年）へ実行章が手渡されました。同校では昭和55年

から村内の子どもたちを対象に、童話や昔話などの読み聞かせを実施しています。これまで36年間の間、読み聞かせ活動をはじめ、手作りの紙芝居や九戸かるたなどを通して、子どもたちとの交流活動を継続していることがたたえられ受賞となりました。

この活動では、子どもたちを楽しませようと、生徒自らが内容を計画。工夫を凝らした朗読や、ゲームなどが毎年行われています。



伊保内高校へ
小さな親切実行章が贈呈

滑らかな四重奏に合わせ、児童も参加しての合唱



豊かなハーモニーに感動

青少年劇場「レスパス弦楽四重奏コンサート」が6月3日、HOZホールで開催されました。村内の小学生約250人が集まり、本場クラシックの生演奏を楽しみました。

ステージでは2種類のバイオリンとピアノ、チェロがそれぞれ個性ある音色を演出。息の合った4人のメロディーが奏でられると、児童たちは真剣な表情で耳

を傾け、聞き入っていました。また、楽器一つ一つの特徴を紹介。児童たちは興味深々で、たくさんの質問が出されていました。

さらに4種類の楽器演奏に歌を乗せ、全員で合唱に挑戦。杉本竜一作曲・ピリヴの楽曲を、滑らかな旋律に乗せて大きな声で歌いました。元気な声は会場いっぱいに響き渡り、豊かなハーモニーを奏でていました。

農業農村の活性化を支援

岩手県農林水産部では、農林水産業が盛んになるように、生産や加工・流通に携わる人たちの指導・支援をしています。

商品開発や集落間サポートの仕組みづくりなどに対して、補助金を交付しています。

■補助金額
上限75万円（補助率1/2以内）

■補助対象活動
地域資源を活用した商品開発や試験栽培、試験販売、作業受委託、収穫祭や交流活動

■補助申請に必要な要件
「地域ビジョン」の策定
地域ビジョンとは…農業を核とした地域の目指す姿と、その実現に向けた取り組みなどの計画

■申し込み・問い合わせ
農林建設課農地農政班・細川（☎42・2111内線242）

雪止めを付けましょう

安心・安全な「道」へ

過去に通学中の児童が、屋根からの落雪でケガをする事故がありました。直接ケガをさせることがなくても、道路に落ちた雪によって、歩行者は車道を歩かなければならず、非常に危険です。

通学路はもちろん、屋根の雪が道路に落ちるような建物には、事故が起きない

ように、丈夫な雪止めを付けるようにお願いします。また、強さが足りなかったりさびたりしていると、壊れて落ちることもあります。夏の今から、しっかり対策をして積雪に備えましょう。

■問い合わせ
農林建設課地域整備班・佐藤（☎42・2111内線282）



住宅の改善費用を補助

村では高齢者や障害者の自立と介護者の負担軽減のため、住宅の改善に要する経費について、予算の範囲内において補助金を交付します。

■対象となる人

- ① 在宅で介護保険の介護認定を受けている人
- ② 在宅で身体障害者手帳の交付を受けた肢体不自由（下肢、体幹）または視覚

の障害を持つている人で障害等級が1～3級の人

■対象となる改修

- 住宅のトイレ・浴室などの改善、床面の段差解消、手すりの設置など、対象者の日常生活動作または介護者の介護動作の向上に資すると認められる場合が対象となります。
- ※次のような場合は対象となりません。
- ① 対象者とその配偶者または対象者の生計を維持している人の前年の所得が一定

- の基準を超える場合
- ② 改善の内容が新築や増築の場合
- ③ 賃貸住宅
- ④ 過去にこの事業による補助金の交付を受けた世帯である場合
- ⑤ 補助決定前に、工事に着手したもの

■補助額

- 補助額上限40万円（補助率3分の2）
- 例 交付対象となる経費が80万円の場合
- （80万円－改善費控除額

20万円）×3分の2＝40万円

■申し込み・問い合わせ

- 希望者は、住民生活課地域福祉班（☎422111内線202）へ事前に問い合わせください。
- ※補助決定は改修の必要性を確認し行います。
- ※介護認定を受けている人は、この他に介護保険制度の住宅改修補助もあります。詳しくは、地域包括支援センター（☎422111内線121）へ。

授業力の向上を目指す

村授業力向上研修会が6月22日、伊保内小学校で行われました。村内小中学校教員の授業力向上を目指し、毎年開催されており、今年は村内外の教員約30人が集まり研修しました。

この日は、県立総合教育センターの後澤大世研修指導主事が国語の示範授業を実施。6年生20人に向けて「新聞の投書を読んで、読み手を説得する投書を書く」と

をテーマに授業が進められました。

児童たちは、真剣な表情で意欲的に授業に取り組み、集まった教員たちもメモを取りながら熱心に聴いていました。

その後、後澤研修指導主事による講義や、DVD視聴が行われ、参加者は今後の授業の参考にしようとして、強い関心を持って参加していました。



グループで話し合い、意見をまとめる伊保内小の児童

和やかに交流

心地良い汗

村内郵便局長杯ビーチボール大会が6月19日、村体育センターで開かれました。競技の結果、災害レスキュー隊2016が優勝を飾り、2位はそして父になる、3位は狗鷲戦士となりました。大会には、村内から10チームが参加し熱戦を展開。2つのブロックに分かれて順位が競われ、選手たちは和やかに競技を楽しみ、心地良い汗を流していました。



白熱した試合が繰り広げられたビーチボール大会



年長児親子運動会

運動会の最後には40周年を記念し、3施設対抗による鈴割り大会で盛り上がりました

第40回九戸保護連年長児親子運動会が6月4日、村体育センターで開かれました。村内3カ所の保育園の年長園児32人が集まり、保護者たちの前でたくましく成長した姿を披露しました。

大きく成長した雄姿

オープニングではちびっこ消防隊の演技を披露。今年、雨のため演技できなかったため、今回、企画しました。園児たちは法被に身を包み、音楽に合わせて元気に踊っていました。

園児たちは赤組と白組に分かれ競技を展開。8種目において勝敗が争われ、大きく成長した雄姿を見せてくれました。園児たちは先生の指示に従って競技を行い、同じチームの選手たちを大きな声で応援していました。

最後には、運動会40周年

元気に楽しそうに踊ったちびっこ消防隊



最後まで一生懸命走った紅白リレー



を記念し、3施設対抗の鈴割り大会。保護者と協力して鈴を割り、節目となる40回目の開催を参加者みんなで祝いました。

ボール片付ける速さを競った、クリーン大作戦



国体ダンスで開催機運を盛り上げました





◀写真左、機敏な動作を披露した第9分団

▽写真下、ポンプ車の部で10連覇を達成した第2分団



村ポンプ操法競技会

ポンプ車は **2** が **10** 連覇
小型は **14** が **8** 連覇

村消防団では5月29日、村体育センター駐車場においてポンプ操法競技会が行われました。ポンプ車の部では第2分団が10連覇、小型ポンプの部では第14分団が8連覇を達成しました。競技会には村内の消防団、全15分団が出場。ポンプ車の部には5個分団、小型ポンプの部には10個分団が出場し、訓練してきた消防操法技術を競いました。審査は規律や節度、安全性やタイムなどの合計点で競われました。各分団ともこの日のために練習してきた成果を発揮しようと、団員が協力して競技に取り組みでいきました。競技の結果、上位に入賞した分団を紹介いたします。(氏名後の○内の数字は分団名)

《ポンプ車の部》

- ①第2分団(戸田上・戸田下・戸田館の下)
- ②第10分団(山根)
- ③第1分団(二ツ家・鹿島・伊保内上・伊保内下・川向)

▼優秀選手賞

- 指揮者 下高山朋徳①
- 1番員 上山敦史①
- 2番員 吉田一幸①
- 3番員 野中直樹③
- 4番員 觸澤英之②

《小型ポンプの部》

- ①第14分団(南田)
- ②第9分団(瀬月内・宇堂口)
- ③第7分団(平内・妻の神)

▼優秀選手賞

- 指揮者 谷地竹文⑥
- 1番員 坂本幸治⑫
- 2番員 櫻庭寛⑥
- 3番員 千葉暢威⑭

14分団が支部3連覇

二戸地区操法競技会



二戸地区で3連覇を成し遂げた第14分団。前列左から橋本祐輔団員、関畑友昭班長、後列左から岩淵信毅団員、千葉暢威班長

二戸地区支部消防操法競技会が6月26日、二戸消防署で開かれました。

競技の結果、小型ポンプの部で第14分団が優勝し、二戸地区3連覇を達成しました。また、第9分団は2位となりました。

競技会には管内各市町村で優秀な成績を収めた10個分団が集まり、小型ポンプの部とポンプ車の部で二戸地区の頂点を争いました。

本村からは各部で優勝した、第14分団と第2分団と、第9分団の3個分団が出場。今年は、昨年新たに建築さ

れた二戸消防署が初めての会場となり、選手たちはなれない環境の中、練習した成果を発揮しようと集中して競技に臨んでいました。

小型ポンプの部では本村から出場した分団が1位と2位に入り、本村のレベルの高さを示してくれました。また、ポンプ車の部に出場した第2分団は健闘するも3位となりました。

二戸地区を制した第14分団は、7月24日に県消防学校で行われる、県消防操法競技会に二戸地区代表として出場する予定です。

m u r a n o w a d a i むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

久慈平岳で村民登山 大自然の花と恵に癒される

村体育協会では5月29日、久慈平岳で村民登山を行いました。野田村からの招待者15人と村民60人は爽やかな青空の下、山ツツジやオダマキなどの山野草を楽しみながら登山しました。参加者は道中、目の前に光り輝く新緑を楽しんだり、澄み切ったおいしい空気を吸ったりと、雄大な大自然に癒されていました。頂上で記念撮影をした後、キャンプ場では昼食のお振る舞い。村山友会の皆さんが心を込めて作った、たけのこ飯や山うるいのひつつみなど、自然の恵みがたっぷり入った料理に舌鼓を打ちながら、交流を深めていました。



と一緒に久慈平岳を登山し、絆を深めました



山うるいのひつつみや味付けワラビなどが振る舞われました



調理を担当した皆さんが、前日から協力して準備しました

味彩の会で田植え御膳 郷土料理に華やぐ笑顔

6月16日、村山村開発センターで味彩の会あじさいが開かれました。村生活改善グループ連絡研究会の会員の指導の下、参加者12人が昔懐かしい「田植え御膳」を作りました。今回は赤飯や切り干し大根のハリハリ漬け、すき昆布の煮付けなど、計画より3品多い6品を調理。参加者は互いの知識や技術について意見交換しながら、楽しく調理を進めていました。調理後は予定以上に豪華に盛り付けられた料理に舌鼓を打ちながら、会話にも花を咲かせ、交流を深めていました。



協力して田植え御膳を作る参加者



地域づくりに連携を約束する
岩手銀行の田口代表取締役頭取（右）と五枚橋村長

岩手銀行と地方創生の連携協定 協力し地域づくりにまい進

村と株式会社岩手銀行は6月21日、「地方創生の連携に関する協定」を締結しました。岩手銀行の田口幸雄代表取締役頭取や五枚橋久夫村長などが出席し、協定書へ調印しました。協定内容は村ふるさと振興戦略に関することや雇用の創出、結婚・出産・子育て支援、地域づくりの推進など6項目となっています。五枚橋村長は「地方創生に協力いただけることに感謝したい。連携して雇用の創出や子育て支援などを充実させ、地域づくりにまい進したい」とお礼の言葉を述べました。



稲作の喜びや苦勞を体験する、戸田小5年生児童たち

戸田小学校で田植え体験 楽しみや苦勞を学ぶ

戸田小学校で5月25日、田植え体験が行われました。橋本敏夫さん（戸田下）の指導の下、5年生13人が約1畝の田んぼにかぐやもちの苗を植えました。児童たちは、最初は不安そうな表情で植えていましたが、慣れてくるとスピードも上がり楽しみながら体験していました。児童たちが協力し、約30分という短い時間で植えた田んぼを見てみると、大人も驚くほど苗が等間隔にきれいに並んでいました。その後、児童たちは水稲について事前に調べてきた疑問点を橋本さんに質問し、田んぼの管理方法や稲作の大変さなどを学んでいました。



野田村から15人を招待し、村民60人



自然の恵みがたっぷり入った料理を作ってくれた村山友会の皆さん



救急救命の処置について学ぶ山根小の児童たち

山根小で救急救命法を学ぶ 万が一の時、命を守ろう

6月16日、山根小学校体育館において救急救命法講習会が行われました。5・6年生12人と地域住民合わせて約30人が参加。二戸消防署九戸分署から講師2人を招いて、救急救命の処置について学びました。参加者は胸骨を圧迫するときのポイントや人工呼吸のやり方、AEDを使うときの注意点などについて学習。万が一、人が倒れていたことを想定し、真剣な表情で取り組んでいました。日和蓮志君（6年）は「人工呼吸では息を吹き込むのが難しかった。人が倒れていたら積極的に対応したい」と話していました。

第6・8分団に小型動力ポンプ配置 防災利用に期待

小型動力ポンプ配置式が6月2日、村保健センター前で行われました。村消防団第6分団（栗谷川藤雄分団長）と第8分団（高倉聡志分団長）に、それぞれ新型のトーハツVC72PROⅢが配置されました。配備されたポンプは以前より、真空ポンプが大きくなり送水が早くなるとのことで、迅速な消火活動が期待されます。五枚橋久夫村長は「これを契機に配備された設備の管理や訓練を行い、防災につながることを期待します」とあいさつしました。



第6・8分団に小型動力ポンプ（右）が配置されました



一般功労団体感謝状を贈呈された伊保内下行政区の櫻庭孝さん

防犯功労者へ表彰状

橋山充志さんと伊保内下

二戸地区防犯協会連合会総会が5月27日、二戸警察署で開かれました。防犯団体関係者など約40人が出席し、地域安全活動などに貢献した人へ表彰状が贈呈されました。本村からは役員・職員表彰として、村地域安全推進員を務めている橋山充志さん（戸田上）と、一般功労団体感謝状として伊保内下行政区（櫻庭孝さん）へ表彰状が贈られました。

橋山さんは、平成14年4月から村地域安全推進員に在職。平成17年4月からは副隊長として、地域住民の安全・安心を守る活動を積極的にを行っています。伊保内下行政区は、夜間の防犯パトロールや環境美化活動などを積極的に展開。近所の住民がひと声掛け合える地域づくりを進めていることがたたえられ受賞となりました。



一般功労団体として表彰される戸田小の高橋節夫校長（中央）

戸田小と坂本幸雄さん

平成28年度岩手県防犯協会連合会の定時総会が6月17日、ホテル東日本（盛岡市）にて開かれました。総会では、防犯意識の普及・啓発活動に貢献した人へ、表彰状の伝達も行われました。本村からは、一般功労団体として戸田小学校（高橋節夫校長）が、功労者として長興寺防犯隊の坂本

幸雄さん（大向）が表彰されました。戸田小学校では、村山友会と連携して山登りや冬のかんじき体験など、積極的に世代間交流を進め、明るく安心して暮らせる地域づくりに貢献してきました。坂本さんは同防犯隊が結成以来隊員となり隊の活動をリード。青少年の健全育成や鍵掛け運動などを推進し受賞となりました。

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆

ゆずき
山本 柚生くん

7月16日生まれ/長男/南田
(父)拓洋さん(母)明珠さん

「優しい子に育ててね」
両親より



しほ
大崎 志帆ちゃん

7月22日生まれ/次女/川向
(父)重光さん(母)美香さん

「たくさん食べて大きくなってね」
父・母より



◎8月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を大募集!! 希望する人は7月13日(水)までに、写真(データも可)を広報担当(☎42-2111 内線168)までお持ちください。

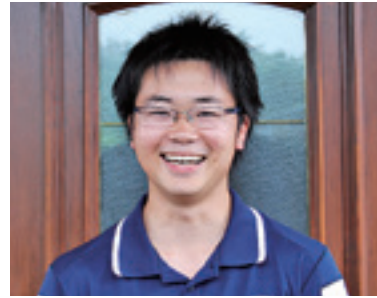


家族などから百賀を祝福される古館サンさん(前列中)

古館サンさん100歳祝つ

古館サンさん(川向出身)が6月9日、100歳の誕生日を迎え、入所している地域密着型特別養護老人ホームおりの里でお祝いをしました。五枚橋久夫村長が訪問し、花束と長寿祝い金を贈呈。「健康で健やかに過ごし、これからもお元気で」と祝福しました。この日は長男をはじめやしやごも駆け付け、上寿をみんなで祝いました。

友達の輪 16



田澤 太朋さん
21歳・山根

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

高校卒業後、県立農業大学校にて畜産を勉強。平成27年4月から実家で酪農経営に汗を流しています。

- ◆趣味・特技は？ 漫画や小説を読むことと、テレビゲームが好きですね。
- ◆一番の楽しみは？ 冬はスノーボードに行くのが楽しみです。
- ◆一番熱中していることは？ 共進会などで好成绩を収められるよう、手塩に掛けて乳牛を育てています。
- ◆将来の夢は？ 牛舎を拡大し、作業の簡略化や労力の削減を図りたい。6次産業も手掛けてみたいです。

むらの文芸

第338回 くのへ俳句会

菅野 岑子

若き日の淡き思い出花水木
耕して土ほたはたと黒黒と
初蝶はつちょうと思おもい束の間見失みしふ
犇はしめきて六弁の梅小ぶりなる

高島 小み女

朝焼や活気溢れし朝の市
出迎えて抱き上ぐ孫や駅薄暑
都会っ子目敏く手折る夏蕨なつわらび
露取りや婆の手仕事絶え間なし
片陰や心美人と立ち話

冬部 雪女

元気スマイル 16



小田澤 清三郎さん
大正15年2月8日生・90歳(道地)

- 60歳ぐらいいまで乳牛を生業とし、75歳ぐらいいまでは葉タバコを生産し、2人の息子こどもを育てました。
- ◆趣味は？ 晩酌ばんしやくが好きで、毎日焼酎を1合飲むのが楽しみだよ。
 - ◆元気の秘けつは？ 稼かせぐことが好きで、自分の好きなことをして生活してきたことが元気の秘けつだね。
 - ◆一番の思い出は？ 肉牛を育てていた平成2年度に、村内最高値の90万円ぐらいいで子牛を販売。賞を買えたことがうれしかったよ。

近すぎて見えぬ倅しあわせ夏霞なつかすみ
若葉風心身爽快歩の軽ろし
山鳩のくぐもり声や森清閑
「新茶です」一言添えて持て成せる
葉櫻の暗きはなやぎ円通寺

櫻庭 義也

夏空を真二つにして飛行機雲
赤々と入り日を返えす植え田かな
手抜きせし跡をかくせぬ植え田かな
ひそひそと過疎となりしか遠蛙
朝焼けや悪しき予感の草を刈る

田村 哇畔

今年また新茶の予約メール便
夏わらび届けて知人の笑顔呼ぶ
まだ元氣竹の子山を駆け巡る
郭公かくこうやそれが生きがい鳴き止まず

夏わらび秘密の箇所を今日も採る

館村 青村

大朝焼け一村いまだ覚め遣らぬ
夏蕨山の奥なる保安林
炎天に日輪燃ゆる真昼かな
鈴蘭の万の鈴音や野辺の風
花苜蓿しやうぶくいと濃やかに咲き揃う

【五月席題詠より】

よき嫁の来て盛んなり大田植 (雪 女)

桐の花母が好みの色万葉 (ふみ女)

桐の花心の散歩て寛くわんぎし (雪 女)

主亡き屋敷に盛るつつじかな (雪 女)

この庭にびったり納まる八重櫻 (哇 畔)

トンネルの入口高く桐の花 (哇 畔)

万緑の中に川あり村のあり (青 村)

白藤の今が盛りの香りかな (青 村)



九戸村が見えてくる

～自然や文化に触れる九曜塾～

九曜塾では、村内の小学生を対象に、村内や周辺地域の自然や文化、歴史、人に触れる体験活動を地域の方々の協力の下、行っています。郷土への理解と仲間づくりを進め、次代を担うたくましい九戸っ子を育てるために昨年度から始まりました。

年間10回の講座を計画し、

本年度は5月に森林学習、6月には塩の道学習を行いました。本年度の九曜塾は次のように計画しています。



塩の道学習で平場の湧き水を見る参加児童



木に聴診器を当て、樹木の音を聴く森林学習

- 7月 ヒメポタル観察会
- 8月 九戸政実学習
- 9月 国体おもてなし活動
- 10月 紅葉狩り・遺跡探検
- 11月 創作活動
- 12月 郷土料理
- 1月 戸のまち親子スキー交流会
- 2月 かんじき体験

たくさんの方の参加を待っています。詳しくは、村教育委員会生涯学習班（☎42・2111内線305）まで問い合わせください。

国体開催に予算1755万円

村実行委員会が総会 いわて国体



競技会運営予算などを決定した村実行委総会

希望郷いわて国体九戸村実行委員会（会長・五枚橋久夫九戸村長）の第4回総会は5月30日、九戸村公民館に委任状を含む84人の委員と顧問・参与8人が出席して開かれました。総会では、国体開催年度を迎え、昨年度当初予算より1583万円増となる総額1755万円の予算と事業計画を決定。花いっぱい運動やおもてなし、軟式野球競技会運営の準備を村民の協働により進め、全国から訪れる選手たちを迎える

ことを確認しました。

支出の主なものは、軟式野球競技会の運営に1347万円、おふるまい・ドリンクコーナー、応援グッズなどに170万円、啓発や花いっぱい運動などに71万円、炬火イベントに27万円となっています。

■平成28年度事業の内容

- ①国体周知・情報発信
- ▽「国体通信」の発行▽国体ホームページ運営▽村

公民館などへ国体情報コーナー設置

②啓発・開催機運の醸成

- ▽花のサポーター事業▽国体サポーターグッズの交付▽国体カウントダウンイベントの開催▽炬火イベントの開催▽横断幕・のぼり旗の掲出▽啓発物品の配布
- ③運動の生活化を推進

▽国体ダンス講習会▽ポラス国体ダンス事業の展開

- ④軟式野球競技会の開催
- ▽軟式野球競技2試合の運営▽おふるまい・ドリンクコーナー開設▽チーム応援▽応援グッズの配布



村民総参加宣言

2016 希望郷 いわて国体

平成28年10月2日（日）ナインズ球場で軟式野球競技会を開催

「学び」の中に国体を取り入れます！



「生涯学習アカデミー・女性教室合同開講式・講演会」参加者の皆さん＝5月17日、講師の島山さゆり氏（株式会社惣兵衛代表取締役、前列左から6番目）を囲んで

九 戸 中 学 校

二戸地区中総体で好成績

6月18日、19日

二戸地区中学校総合体育大会が大平球場などで行われました。九戸中学校では次の通り好成績を収めました。

■県大会出場チームと出場者

▽団体

バレーボール男女

1位、柔道女子団体1位、

バスケットボール女子2位、

卓球女子団体3位

▽個人

柔道男子・小沼侃士君(3年)

1位、柔道女子・荒田愛結



二戸地区中総体の好成績を喜ぶ九戸中の生徒たち

Books

❖ 今月のおすすめ図書

櫛挽道守

木内 昇 著/集英社



幕末、神業とたたえられなくし職人の父。家を守ることに心を砕く母。村の外に幸せを求める妹。才を持ちながら早世した弟。そして、くしに魅入られた長女・登瀨。それぞれの願いを胸に生きた家族の喜びと苦難の歴史物語。

ありふれた祈り

ウィリアム・ケント・クルーガー 著/早川書房

あの夏のすべての死は、一人の子どもの死で始まった。1961年ミネソタ州の田舎町で牧師の父、芸術肌の母、音楽の才能がある姉、賢い弟と共に暮らす13歳の少年の人生を変えた、忘れ難いひと夏を描いた傑作ミステリー。



天才

石原 慎太郎 著/幻冬舎



反田中の先駆けだった石原が、今なぜ「田中角栄」に引かれるのか。家族とは何か？成功するということはどういうことか？女は男にとってどんな存在なのか？石原慎太郎が田中角栄に代わって書いた衝撃のモノローグ。

おじいちゃんとのやくそく

石津 ちひろ 文/光村教育図書

大好きなおじいちゃんが亡くなり、悲しみに沈んでいたのぞみ。「おじいちゃんの木」に何でも話すという約束が少しずつのぞみを癒してゆく。祖父の深い愛情に包まれて成長する少女の物語。



○開館時間/平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日/年末年始

伊保内高校

スマホの犯罪対策を討議

副校長 小原 由紀

伊保内高等学校の生徒会では、スマートフォン利用マナーアップ宣言を策定し、適正な利用に主体的に取り組んでいます。

4月27日にクラス討議を実施し、スマホについて困っ

ていること、今後予想されるサイバー犯罪について話し合い、クラス内で解決できない点を明らかにしました。

6月8日に全校討議を、パネルディスカッション形式にて実施。1年生の質問

には3年生のパネラーが答えるなど、コーディネーターの本堂晴夏さん(3年)が活発な意見を引き出しました。

た。また、二戸警察署の佐々木警部補から講演と助言をいただき、サイバー犯罪対策について全校で討議しました。



サイバー犯罪や対策について全校で討議しました

実さん(3年)2位、皆川綾香さん(3年)2位、卓球・川原歩士君(1年)4位
以上、好成績を収めた選手たちは7月16日～18日に

行われる、県中学校総合体育大会に出場します。(副校長 野田 寛)

食中毒を防ぐ6つのポイント

これからの暑い季節に心配なのが食中毒です。厚生労働省では6つのポイントに分けて推奨しています。

① 買い物

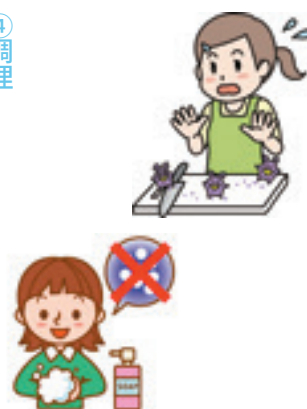
- 持ち歩く時間を減らすため、肉や魚などの生鮮食品を買う順番は最後にする。
- 肉汁や魚などの水分が漏れないようにポリ袋に入れ、氷や保冷剤を当てる。

② 家庭での保存

- 生鮮食品は速やかに冷蔵庫・冷凍庫に保存する。
- 肉や魚は他の食品に肉汁などがからないようにビニール袋に入れる。

③ 下準備

- 肉・魚・卵を触ったら手を洗う。
- 冷凍食品は自然解凍を避け、使うだけを冷蔵庫や電子レンジで解凍する。
- 使用後の布巾や調理器具は熱湯で消毒する。



④ 調理

- 調理の前にせっけんを手を洗う。
- 肉や魚は中心部までしっかりと加熱する。(75℃で1分以上)

⑤ 食事

- 食べる前にせっけんを手を洗う。
- 作った料理は室温に放置せず、すぐに食べるか冷蔵庫に保存する。(0・157は室温で20分放置で2倍に増えます)

⑥ 残った食品

- 時間がたちすぎた物、少しでも怪しい物は捨てる。
- 以上6つのポイントに気を付け、夏場の食中毒を防ぎましょう。

(保健師 河村 侑乃)

8月から後期高齢者の保険証が更新

新しい後期高齢者医療被保険者証を、対象者の皆さん(75歳以上の人と65歳以上で一定の障がいがあつて制度加入の申請した人)へ7月下旬に『郵送』します。

8月以降に病院などを受診するときは、新しい被保険者証を使用しましょう。

後期高齢者医療制度の自己負担割合

- 対象者の負担は1割です。
- 現役並み所得者の負担は3割となります。同じ世帯に住民税の課税標準額が145万円以上の後期高齢者医療制度の被保険者がいる場合に該当となります。

○ 申請によって、自己負担割合を変更できる場合があります。

医療費の自己負担割合が3割の人の収入が次の基準のどちらかに該当するときは、申請によって、翌月から1割になります。申請は住民生活課で行います。

① 同じ世帯にいる後期高齢者医療制度の被保険者の収入(必要経費

控除前の金額で確定申告書の収入欄の額)の合計が520万円未満(単身の場合は383万円未満)。

② 後期高齢者医療制度の被保険者と同一世帯にいる70～74歳の人との収入合計が520万円未満。

限度額適用・標準負担額減額認定証について

限度額適用・標準負担額減額認定証とは、病院などに提示することとで、自己負担額が高額療養費の適用区分に応じた限度額までとなる証書です。対象となる人は、住民税の非課税世帯の人となります。

現在、使用している認定証の有効期限も7月31日です。課税状況を確認し、引き続き該当となる人には8月1日から使用できるものを『郵送』します。また、新たに該当となる人には、役場からお知らせしますので住民生活課で申請してください。

なお、住民税の課税状況によっては、8月1日から対象外となる人もいます。

年金相談は電話で予約を

年金相談は予約制となっており、電話で予約を取ってから相談ください。



◆年金相談

◆予約の申し込み
二戸年金事務所 ☎ 23 4 1 1 1
アナウンスが流れたら、⑨番を押し、次に⑤番を押すと職員につながります。基礎年金番号、相談内容を伝えてください。

相談の際は、年金手帳、年金証書など相談者本人であることが確認できる書類が必要となります。なお、代理の人が相談に来るときには、委任状と本人確認（代理人）ができる書類も必要となります。

岩手を守る「相棒」を募集

岩手県警察では平成29年4月採用予定の、警察官と警察事務職員の新採用試験を実施します。今回案内する試験区分は次の通りです。



警察の仕事は個人の生命・身体・財産の保護に当たり、犯罪の予防・や犯人の逮捕、交通の取り締まりその他公共の安全と秩序を維持することです。警察事務職員は、その警察官たちをサポートしながら組織運営していく任務を負っています。

◆警察官B

●採用予定数：40人

(男性34人・女性6人)

●受験資格：大学卒業者などを除き、昭和62年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人

●1次試験日：9月18日(日)

◆警察官事務II種

●採用予定数：2人

●受験資格：平成2年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人

●1次試験日：9月25日(日)

◆警察事務III種

●採用予定数：2人

●受験資格：大学卒業者などを除き、平成7年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人

●1次試験日：9月25日(日)

岩手県警察は、岩手県の治安維持のため、県民の平和な生活を守るために一緒に働ける「相棒」を求めています。

岩手県警察は、岩手県の治安維持のため、県民の平和な生活を守るために一緒に働ける「相棒」を求めています。

消防署たより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

知っておこう！熱中症予防

暑い日が続く今、気を付けなければならぬのが熱中症です。屋内でも熱中症になりますので、高齢者や小さな子どもは特に注意しましょう。

◆体調を整える：睡眠不足や風邪気味など体調の悪いときは、暑い日中の外出や運動は控えましょう。
◆小まめに水分補給：「のどが渇いた」と感じたときには、既にか

なりの水分不足の状態にあります。定期的に少しずつ水分補給をしましょう。

◆服装に注意：通気性の良い服を着て、外出時には帽子をかぶりましょう。

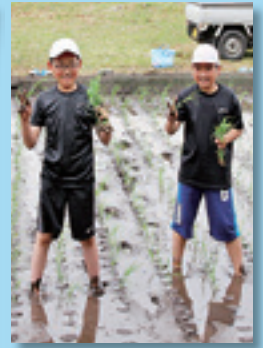
村内の火災・救急（5月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	1件	+1件
救急	22件	132件	±0件

村内の交通事故（5月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	0件	-1件
物損事故	2件	28件	-3件
負傷者	0人	0人	-1人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者	0人	1人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数……600日
(5月31日現在)



熊本地震義援金 ありがとうございます

平成 28 年熊本地震災害義援金として、次の方から寄付いただきました。ありがとうございます。



- ・脇澤茂様 10,000 円
- ・細屋自治会様 50,000 円
- ・関口誠治様 10,000 円
- ・村山友会様 100,000 円

なお、義援金の受け付けが平成 29 年 3 月 31 日まで延長されましたので、引き続き協力をお願いします。義援金は、日本赤十字社を通じて被災者救援に充てられます。

■申し込み・問い合わせ

日本赤十字社岩手県支部九戸村分区（住民生活課地域福祉班）☎ 42-2111 内線 201

政実くのへFM 毎週水曜昼12時

政実くのへFMが7月で3年目に入ります。毎週水曜日、昼 12 時からラジオ放送していますので、ぜひ聞いてください。

◎二戸 82.2MHz

■問い合わせ エフエム岩手
九戸支局 ☎ 43-3227



求人情報

■九戸精密 株式会社 ①NC 旋盤機オペレーター・加工技術者（正社員以外）②九戸村③不問④165,000円～235,000円⑤普通自動車免許一種、切削加工・金属加工経験者優遇、雇用期間：採用日～6カ月、試用期間3カ月

■株式会社 阿部繁孝商店 ①製造一般職（正社員）②九戸村③62歳以下④165,000円⑤試用期間3カ月

■株式会社 新盛建設運輸 九戸営業所 ①鶏舎清掃作業員（正社員）②九戸村など③69歳以下④190,900円～220,800円⑤普通自動車免許一種、試用期間3カ月

■大崎運輸 有限会社 ①送迎バス運転手（パート労働者）②二戸市か軽米町③64歳以下④800円～1,000円⑤大型自動車免許一種または中型自動車免許一種、試用期間3カ月、週5～6日勤務

■日本一フード 株式会社①製造加工スタッフ（正社員）②二戸市③64歳以下④121,200円⑤普通自動車免許一種、試用期間3カ月

■久慈ファーム 有限会社 ①養豚作業員（正社員）②軽米町③59歳以下④150,130円～166,738円⑤普通自動車免許一種、試用期間3カ月

①職種②就業場所③年齢④基本給⑤資格など

◎6月15日現在の求人情報から掲載しています。求人に関するお問い合わせは、ハローワーク二戸 ☎ 23-3341 まで。求人情報は役場ロビーでも配布しています。

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
7	10	すがわら消化器内科	23-2879
	17	金田一診療所	27-2205
	18	むらかみ医院いたみのクリニック	48-1500
	24	よこもり眼科クリニック	22-2230
	31	千葉耳鼻咽喉科医院	23-2009

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
7	10	ますだ歯科クリニック	26-8282
	17	岩淵歯科医院	32-2238
	18	堀米歯科医院	46-2927
	24	宮沢歯科医院	46-2953
	31	こしみず歯科クリニック	33-4618

ごみ収集日 7月

収集区域	瀬内内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸田上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	7月4日(月)	7月5日(火)	7月11日(月)
空き缶	7月19日(火)	7月25日(月)	7月26日(火)
粗大ごみ	7月12日(火)		
紙・プラ類	7月14日(木)	7月20日(水)	7月28日(金)

※ 指定日に、指定の袋で出しましょう。

◎住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123



二戸広域事務組合 消防職員採用試験

平成 28 年度二戸地区広域行政事務組合消防職員の採用試験を実施します。

■採用職種および採用予定人員

消防職員 若干名

■受験資格

- 平成 2 年 4 月 2 日以降に生まれた人で高等学校以上を卒業、または平成 29 年 3 月に卒業見込みの人。
- 消防職員として職務遂行に必要な身体であること。
- 採用後に二戸管内に居住できること。

■第 1 次試験

9 月 18 日⑩ 福岡中学校

■第 2 次試験 10 月下旬予定

■試験案内・申込書の配布

7 月 1 日⑤～8 月 12 日⑤

- 配布場所 二戸地区広域行政事務組合消防本部および各分署
- 郵便による請求もできます

■申込受付

7 月 19 日⑥～8 月 12 日⑤

■問い合わせ 二戸地区広域行政事務組合消防本部 (☎ 26-8111)

社会福祉協議会で ホームページ開設

村社会福祉協議会ではホームページを開設しました。実施しているサービスや新着情報を掲載していますので、ご覧ください。

右記の QR コードからでも見ることができます。



■HP アドレス

<http://www.kunohe-shakyo.jp/>

■問い合わせ

村社会福祉協議会 (☎ 41-1200)

土地家屋の 無料相談会

7 月 31 日「土地家屋調査士の日」を記念して、無料相談会を行います。

■日時 7 月 31 日⑩

午前 10 時～午後 3 時

■場所 二戸地区合同庁舎

■相談内容 土地の分筆、合筆、地目変更/建物の新築、増築/境界問題など

■問い合わせ 岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部・二戸地区事務局 (☎ 22-1235)

身障者補装具 巡回相談開催

■日時 8 月 5 日 (金) (予約制)

午前 10 時 30 分～午後 1 時 30 分

■会場 二戸市総合福祉センター

■内容 義肢・装具等補装具

※ 専門の医師が相談に応じます。

■締め切り 7 月 22 日 (金)

■申し込み・問い合わせ 住民生活課地域福祉班 (☎ 42-2111 内線 202)

人のうごき

(平成 28 年 6 月 1 日現在)

●人口 6,092 人 (−11)

男 2,933 人 (−4)

女 3,159 人 (−7)

●世帯数 2,163 世帯 (−5)

(カッコ内は前月比)

転入 3 人 (58人)

転出 10 人 (90人)

出生 2 人 (14人)

死亡 6 人 (44人)

(カッコ内は 1 月からの累計)

編集後記

◆村消防団ポンプ操法競技会の結果を見ましたか。9 ページに掲載してありますが、結果は…。残念ながら第 2 分団の 10 連覇を阻止することはできませんでした。◆しかし、操法の選手をやり再確認できたことがあります。操法はチームで戦っているということ。選手だけでなく、支援してくれる先輩や他の団員たちがいるからこそ、競技に集中できるということ。◆広報紙も同じです。皆さんの協力があってこそ発行できるのです。感謝の気持ちを忘れず、これからも明るい話題を提供していきたいと思えます。(下村)



床の上で転がすゲートボールリレーでは、1回でゲートを通過できるかな？

老人クラブ体育祭

和気あいあいと
和やかに交流

第29回村老人クラブ体育祭が6月17日、村体育センターで開かれました。村内8つの老人クラブ単位会が集まり、元気はつらつと汗を流しました。競技は老人クラブ単位会ごとに分かれ、6種目において優勝を争いました。

最初の種目、ゲートボールリレーでは、なかなか真つすぐ転がらないボールに悪戦苦闘。豆拾いリレーでは、大きさの異なる豆に四苦八苦しながら和やかに楽しんでいました。縄ないレースでは、今まで培ってきた自慢の技を披露。慣れた手付きで素早く編んでいました。ボール送りリレーは、縦1列に並んだ10人が頭の上と股の下を交互に、ボールを後ろへ送る競技。参加者は声を掛け合いながら、和気あいあいと楽しんでいました。

最終種目は玉入れ競争。男女各5人が一人3個の玉を5メートル先の箱に投げ入れ、入った数を競い合いました。チーム内はもちろん、他のチームの参加者たちも一緒に、1球1球の行方をかたずをのんで見守り、声援を送っていました。

また、競技の結果、優勝は伊保内、2位が江刺家下、3位が伊保内下となりました。また、競技の合間には伊保内保育園の4・5歳児25人も駆け付け、ちびっこ消防隊やわんこダンスを踊り、愛くるしい姿で応援してくれました。毎年参加しているという、秋元トシノさん(柿の木・78歳)は「今年のチームの参加者は少なかったが、競技に出たり仲間と交流ができたりと楽しかった。また、来年も楽しみ」と満足そうでした。

びん釣リレーではびんを落とさないように…



元気に遊戯する伊保内保育園の園児



投げた球は箱に入るかな？

